



月報だよりの原稿は毎月20日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申込みください。

e-mailで toukou@geppou.asj.or.jp宛。

なお、原稿も必ずFaxで0422-31-5487までお送りください。

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目に従ってご投稿ください。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）

特定非営利活動法人 日本スペースガード協会観測員

日本スペースガード協会では、美星スペースガードセンター（岡山県井原市美星町）において地球接近小惑星とスペースデブリの観測を行っています。このたび、下記のとおり観測員を若干名募集しますので、お知らせいたします。

1. 観測員

- (1) 観測・研究職員 若干名
- (2) 観測・教育職員 若干名

2. (1) スペースガード観測センター

- (2) 岡山県井原市美星町（美星スペースガードセンター）に勤務。

3. 地球接近小惑星、天文教育

4. 観測業務と研究・教育普及活動、事務作業など

5. (1) 2015年4月1日以降のなるべく早い時期

- (2) 常勤（任期あり）

評価の上で年度ごとに更新。ただし、原則として2017年3月末までは更新を保障する。

6. (1) 観測・研究職員

博士の学位を有する方。または、それに準ずる学識を有し、観測・研究に情熱をもつ方。

(2) 観測・教育職員

修士の学位を有する方。または、それに準ずる学識を有し、観測・教育（普及活動）に情熱をもつ方。

7. (1) 履歴書（写真添付、捺印、学歴・職歴・受

賞歴・所属学会・住所・e-mailアドレスなどを明記のこと、書式は任意）

(2) 観測歴、研究歴（ともに書式は任意）

(3) 研究業績リスト（審査の有無別、口頭発表を含む）

(4) 主要論文の別刷（3編程度）・刊行書籍など

(5) 教育の経験がある場合はその概要

(6) 応募者について照会可能な者2名の氏名と連絡先

(7) 採用後の抱負（1,200字程度）

8. 2015年3月20日（金）必着

9. (1) 〒151-0073 東京都渋谷区笹塚1-60-7 2F 日本スペースガード協会 理事長 高橋典嗣

(2) 事務局 Tel: 03-3378-6450 Fax: 03-6416-0990

10. 応募封筒の表に「観測員応募」と朱筆する。

11. (1) 選考：選考委員会による書類選考（第一次審査）を行う。最終選考は、東京事務局にて面接を行う。なお、旅費等は応募者負担とする。

(2) 給与、勤務形態は、協会給与等規程による。1カ月160時間勤務。

(3) 夜間勤務手当てあり

(4) 《協会の目的》

太陽系はその誕生から現在に至る生成過程において、天体の衝突を絶えず繰り返しており、地球もちろんその例外ではない。人類は幸いにも今までに大きな天体衝突現象をその歴史にとどめてはいない。しかし、小惑星や彗星のような小天体の衝突は近い将来においても起こりうる現象であり、しかもそれは地球上の生物に深刻な影響を及ぼし、多くの種の生存を危険にさらす可能性をもっている。本協会はそのような災害から地球環境を守ることを目標として、地球に衝突する可能性のある小惑星、彗星をはじめとする地球近傍小天体の発見と監視を行い、またこれらの天体に関する広範囲な研究の促進とその啓発普及を図っていく。（定款より）

(5) 日本スペースガード協会の活動についてはホームページをご覧ください。

<http://www.spaceguard.or.jp/ja/index.html>

国立天文台 TMT 推進室 特任准教授

1. 特任准教授（オプティクスサブマネージャ）1名
2. (1) TMT 推進室 (2) 東京都三鷹市（米国カリフォルニア州パサデナ等への長期出張あり）
3. 天文学・物理学および関連する工学分野
4. TMT 推進室光学部門のマネジメントを担い、主鏡研磨およびその後の外形加工・支持機構搭載・各工程での鏡面計測などの手法の確立、主鏡製作に関する国際協議、望遠鏡立ち上げ期における主鏡フェーシング作業の検討等を行う。
5. (1) 決定後なるべく早い時期 (2) 5年
6. 大学院博士課程修了、またはそれと同等以上の方
7. (1) 履歴書（写真貼付）、(2) 論文リスト、(3) 研究歴（望遠鏡・観測装置・実験機器等の開発の実績、国際協力での開発の経験を含む）、(4) 今後の職務に関する計画書、(5) 本人について意見を述べられる方2名の氏名と連絡先
8. 2015年3月31日(火) 17時必着（日本時間）
9. 問い合わせ先：〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台TMT推進室長 白田知史
Tel: 0422-34-3522
10. 提出先を含め、詳細は国立天文台ウェブページをご参照のうえ、ご応募ください。
<http://www.nao.ac.jp/job-vacancy.html>

研究会・集案案内

名古屋大学大学院理学研究科・ 名古屋市科学館共催 第13回 坂田・早川記念レクチャー

「核力の研究をたどる—湯川の中間子論から格子ゲージ理論まで—」

矢崎紘一氏（東京大学名誉教授/理化学研究所客員主管研究員）

平成27年3月14日(土)

開場 13:30 開始 14:00 終了（予定）16:30

名古屋市科学館サイエンスホール

■対象：高校生以上

■定員：300名（申込制、多数の場合は抽選）

参加には科学館の観覧料が必要です（高校生・大学生200円、大人400円）。

■講演会ホームページ：<http://www.phys.nagoya-u.ac.jp/SakataHayakawa/index.html>

～生まれ、科学者を夢見る若者たち！～

名古屋大学大学院理学研究科・素粒子宇宙物理学専攻は、素粒子物理学と宇宙物理学の両分野における世界の研究の発展に寄与し、ノーベル賞受賞者をはじめ、多くの人材育成に関わってきました。坂田・早川記念レクチャーは、坂田昌一・早川幸男両教授の業績をたたえつつ、21世紀を担う研究者の発掘および育成を目的として設けられました。

第13回となる今回は、日本を代表する原子核・ハドロン理論物理学者である矢崎紘一氏をお招きします。原子核を構成する陽子や中性子は、最も基本的な粒子であるクォークからできています。このようなクォークの集合体を総称してハドロンと呼びます。矢崎氏は原子核物理学とハドロン物理学の分野で、核力研究、クォーク多体系の相構造といった数々の基本的な理論研究を発表されてきました。講演では湯川理論に始まる核力の研究を軸にして、ハドロン物理学の進展を基本から最新の研究成果までわかりやすく紹介していただきます。

申込方法：インターネットのみ。講演会ウェブサイトの専用フォームからお申込みください（申込みで寄せられた個人情報は、本セミナーの運営に必要な範囲でのみ使用します）。

申込締切：3月2日(月)

問合せ先：内容についてのお問い合わせ

〒464-8602 名古屋市中千種区不老町 名古屋大学
大学院理学研究科H研

担当：野中

Tel: 052-789-2866

e-mail: sakatahayakawa@hken.phys.nagoya-u.jp

申込方法、会場に関するお問い合わせ

〒460-0008 名古屋市中区栄2-17-1

名古屋市科学館

担当：天文係 中島

Tel: 052-201-4486 (代)

注：高校などでまとまって参加希望される場合は、お問い合わせください。

会務案内

年会開催地立候補の募集

このたび日本天文学会では、年会開催地の立候補の募集を行うことになりました。締め切りは4月初旬を予定しております。

今回、募集する年会は2017年9月秋季年会と2018年3月春季年会の開催地です。皆様奮ってご応募お願いします。詳しい内容は、学会ホームページに掲載しますので、そちらをご覧ください。なお、開催地は立候補状況を見ながら理事会にて決定する予定です。

(文責 中村文隆)

事務所からのお知らせ

【移籍・退会について】

2015年度からの移籍、2014年度末退会希望の方で、まだ学会事務所に連絡していない方は、大至急書類のご提出をお願いいたします。書式は当学会ホームページからダウンロードできます。

【会費納入について】

◆正・準会員の皆様◆

2015年度(2015年4月-2016年3月)会費の納入期間は、2015年3月、4月の2カ月間です。

正会員：18,000円

正会員(学生)：10,000円*

準会員：8,000円

予稿集予約購読代：4,000円(予約している方のみ)

※正会員(学生)会費が値下げされます。

13,000円→10,000円(当面2015年度のみ)

- 会費の口座自動引き落とし登録のない方には、3月上旬にコンビニエンスストア専用払込票を郵送します。
- 口座自動引き落とし登録の方は、2015年4月10日に引き落としますので口座残高不足にご注意ください。通帳には引き落とし代行会社の「JCB」という文字が印字されます。
- 海外在住の方は、上記金額をご確認のうえ、クレ

ジットカードまたは銀行振込等でご納入ください。

★払込票の控え、またはクレジットカード会社・金融機関の利用明細、引き落としが印字された通帳のコピーをもって本学会の領収書とさせていただきます。控えや明細書は大切に保管してください。

◆団体・賛助会員の皆様◆

4月に請求書をお送りします。会費額は変更ありません。

訃 報

川良公明 氏(東京大学大学院理学系研究科天文学教育研究センター准教授)は平成27年1月19日にご逝去されました。享年65歳でした。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

訂 正

天文月報2015年(第108巻2月号)131頁の雑報「SPIE2014モントリオール報告」の右欄下から3行目にある氏名に誤りがありました。

訂正してお詫び致します。

正) 谷田貝豊彦 氏

誤) 谷田見豊彦 氏

天文月報オンライン/投稿用アップローダーのIDとパスワード

ID: asj 2005

パスワード: 雑誌コード(5桁の数字と)vol98(5文字)の計10文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○-▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

青木和光(編集長), 市来浄與, 大栗真宗, 勝川行雄, 富永 望, 平松正顕, 廣田朋也, 馬場 彩, 前野将太, 町田正博, 吉田二美

平成27年2月20日

発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

印刷発行

印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-8 株式会社 国際文献社

定価720円(本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359(事務所) / 0422-31-5488(月報) Fax: 0422-31-5487 振替口座00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会2015年(本誌掲載記事は無断転載を禁じます)